



北海道ガーデン街道 (北海道)

第1回(2019年)登録
北海道ガーデン街道協議会

北海道ガーデン街道は、「旭川空港」と「とちかち帯広空港」を結ぶ、国道237と38号沿いの全長250kmに及ぶエリアに広がっています。お手本にしたのは、ドイツのロマンティック街道。周遊には、旭川から富良野、そして十勝を巡るルートがおすすめです。

エリアごとに個性豊かなガーデン巡り

訪れる人を、大雪・富良野・十勝エリアの8つのガーデンを巡る旅へとといざないます。個性あふれるガーデンはもとより、田園風景や山並みを楽しみながら、エリアの農産畜産乳製品などの食も満喫。エリアが異なれば空気も違い、花や景色も食も違う。そんな変化を移動しながら体感することができます。気球、セグウェイ、乗馬など、広大な土地を生かしたアクティビティが楽しめるガーデンも。

さまざまな草花との出会い

初めての探訪なら、バラをはじめ花々が鮮やかに咲く6月末~7月がおすすめです。また秋の、しっとり落ち着いた風情も美しいです。気候の特性を生かして、草花をドライフラワーのように残してアートのようにデザインして見せることも多く、北海道ガーデンの魅力の一つになっています。

ガーデナーたちとの触れ合い

それぞれのガーデンにはガーデナーがいます。美しいガーデンを維持するためには、人の手があつてこそ。ガーデナーをはじめ、おもてなしの心を持ったスタッフとの会話をぜひ楽しんで。すべてのガーデンで実施しているガイドツアーもおすすめです(予約制・有料)。

ステイしてじっくり楽しむ

駆け足ではもったいないので、2~3泊してじっくり楽しむのが理想的です。各エリアには、北海道ガーデン街道が定めた基準をクリアした上質なホテルが6館あります。ガーデンルームやガーデンランチを提供するホテルもあり、満足度の高いステイが楽しめます。

History 四季折々のストーリーとともに

国立公園にも指定されている大雪山系は、昔からアイヌの人たちに「カムイミンタラ(神々の遊ぶ庭)」と呼ばれていました。こうした環境から大雪山系を中心に多くのガーデンが生まれたのは、自然の成り行きだったのかもしれませんが。冬になるとガーデンは一面、雪景色に変わります。その分、春には栄養分を蓄えた草花の芽が勢いよく育ち、5月にはチューリップなどの球根や山野草、6月末からバラや宿根草が成長し、きれいな花を咲かせます。そんな四季の物語にも思いをはせてみませんか。



ヒルズ朝マルシェ (十勝ヒルズ)

生産者と消費者のコミュニケーションの場として、ヒルズファームで採れた無農薬野菜を販売。十勝で活躍する作家や菓子店とともに十勝の魅力を発信します。2021年5月2日(日)から隔週日曜開催。



ノームを探せ! (上野ファーム)

小学生以下を対象に、ガーデンのいたるところに隠れている妖精「ガーデンノーム」を探し当てるイベントです。ガーデンで見つけたノームの数を窓口で伝えると、もれなくプレゼントが。参加無料。



ワークショップ (大雪森のガーデン)

どんぐり、木の枝などを使って、オリジナル作品を作る木工体験(土日祝)。エッセンシャルウォーター作り体験では、エゾマツやトドマツを使って蒸留水を作ります。幅広い層に人気のワークショップです。



Area

グルメスポットがいっぱい

どこまでも美しい平野部が広がる「十勝エリア」、雄大な山々に囲まれた「上川エリア」。2つのエリアを堪能できる北海道ガーデン街道は、風景だけでなく、農作物や食もお楽しみです。旭川はお米が中心、富良野はお米と畑作、十勝は酪農と畑作と、地域ごとに特色があるため、食の魅力もバラエティ豊か。道中には日本酒の酒蔵やワイナリー、チーズ工房、スイーツショップなどのグルメスポットも点在しています。

一言お願いします!



北海道は広いので、ぜひゆっくり滞在して庭巡りをしてほしいと思います。あわせてホテル、温泉なども楽しんでいただければ。また、季節が変われば咲く花もガーデンの表情も変わるので、ぜひ何度も足を運んでください。



北海道ガーデン街道協議会
副会長 上野砂由紀さん

詳しくはこちら

<https://www.hokkaido-garden.jp/>

